	土地の安定性	反射光
	地形改変及び施設の存在	地形改変及び施設の存在
七　予測地域 第三号の調査地域のうち、地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがある地域 八　予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえ、重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期	一　調査すべき情報 土地の安定性の状況 二　調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 三　調査地域 対象事業実施区域及びその周辺区域 四　調査地点 土地の特性を踏まえ、前号の調査地域における土地の安定性に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点 五　調査時期等 土地の特性を踏まえ、第三号の調査地域における土地の安定性に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な時期 六　予測の基本的な手法 土地の安定性について、表層土壌や地質の改変の程度を把握した上で、斜面安定解析等の土質工学的手法 七　予測地域 土地の特性を踏まえ、土地の安定性に係る環境影響を受けるおそれがある地域として、第三号の調査地域に準ずる 八　予測対象時期等 土地の特性を踏まえ、土地の安定性に係る環境影響を的確に把握できる時期	一　調査すべき情報 イ　土地利用の状況 ロ　地形の状況 二　調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 三　調査地域 反射光の特性を踏まえ、反射光に係る環境影響を受けるおそれがある地域 四　調査地点 反射光の特性を踏まえ、前号の調査地域における反射光に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点 五　調査期間等 反射光の特性を踏まえ、第三号の調査地域における反射光に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯 六　予測の基本的な手法 事例の引用又は解析 七　予測地域 第三号の調査地域のうち、反射光の特性を踏まえ、反射光に係る環境影響をうけるおそれがある地域 八　予測対象時期等 反射光の特性を踏まえ、反射光に係る環境影響を的確に把握できる時期